

「都道府県地球温暖化防止活動推進センター連絡会 幹事会第 7 回通常総会及び環境省、全国センター事業説明会」報告



7月18日（金）に各都道府県センターの関係者が一同に会する連絡会総会が仙台市で開催され、全国から約80名の参加者が集まりました。

長谷川センター長のあいさつで幕を開け、環境省から国における地球温暖化防止施策について説明がありました。全国センターからは平成20年度事業等の説明があり、そして総会での議案採択が行われました。それぞれ活発に意見が出され、各センターの取り組みへの意気込みが伝わってきました。特に今年は法改正によって、政令指定都市・特例市にもセンターが設置できるようになったことが議論の中心となっていました。



総会には全国から関係者約80名が集いました



開催のあいさつをする長谷川センター長

60名以上のセンター職員が全国から集まるというまたとない機会であることから、総会終了後には情報交換会を兼ねて懇親会を企画しました。全国地球温暖化防止活動推進センターの大木代表も参加され、より一層の盛り上がりとなりました。全国の地酒をそれぞれが持ち寄るという特別企画も大変ご好評いただきました。懇親会では皆さん熱心に意見交換をされていました。

ストップ温暖化センターみやぎは連絡会代表幹事の任期が満了となり次の代表幹事である大阪府センターに無事にバトンを渡す事ができました。今後の大阪府センターの活躍に期待します。



あいさつをする大木代表



全国から持ち寄った地酒



©MIC